

第 95 号
2019 年 (平成 31 年)
2 月

たけはら

市民と議会

<http://www.city.takehara.lg.jp/gikai/>

目次

特 集	2
議会人事	4
提出議案などの概要	6
議員発議	8
採決の結果・ 議会のうごき	9
一般質問	10
全員協議会	13

特 集

#がんばろう竹原



▲がんばってる市内商店街のみなさん

特集

今田議員 井上議員が聞く

#がんばろう竹原

…届け、みんなに元気な竹原!!…

今回の特集は、12月に復興イベントを開催された商店街のみなさんに復興への思いをインタビューしました。

2月にもイベントを開催するよ！
元気な商店街へぜひ遊びに来てね～
（詳しくは裏表紙をチェック）

竹原駅前商店街



▲ボランティアの竹原高校生

7月の豪雨災害以後、例年の「たなばた祭り」、企画していた「ももねこ様祭り」が中止となり、JRが不通となったこともあって、人通りが激減しました。

そうした中、竹原にぎわいを創出したいとの思いで、「ネットワークまちの駅たけはら」「しんちゃん広場」「消防署」とも連携し、中学生、高校生のみなさんにもボランティアとして協力していただいていた、12月16日「復興まつり」を開催しました。午後はあいにく小雨となりましたが、社会福祉協議会の災害ボランティアに参加された方々の同窓会が開催されるなど、多くの方に笑顔で参加していただき感謝しております。



今市 恵誉さん
竹原駅前商店街振興組合 理事長



掛町商店街



今年の住吉祭は、奉納ソフトボール大会の前日に豪雨災害が発生したため中止となりました。商店街の会員や被災された近隣の地域の方々の「にぎわいのあるイベントをしたい」という思いを受け、「がんばってる竹原、がんばってる掛町」を合言葉に、12月9日に「掛町まつり」を開催しました。特設ステージでは、災害の影響が大きかった荘野公民館で活動している子ども太鼓の演奏がありました。子どもたちにポニーと遊んでもらったり、餅まきもあり寒さのなか多くのお客様による喜んでいただきました。



▲子ども和太鼓「葉組」のみなさん



本岡 隆さん

掛町商店街振興組合 理事長



樋口 哲さん

忠海ほほえみタウン商店会 会長



忠海ほほえみタウン商店会



忠海学園の
ブラスバンド

12月22日にサブタイトルを「元氣忠海」とした歳末ジャンボ大抽選会を実施しました。忠海学園のブラスバンド、忠海出身の歌手の特設ステージがあり、会場のまわりは長蛇の列となりました。お客様は午後4時頃まで途切れることなく、元氣あふれるイベントとなりました。

人事決定

議長

大川 弘雄



ご挨拶

皆様には平素より議会に対して、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年11月の市議会議員の改選に伴い議長に就任致しました大川弘雄です。竹原市議会は、4年前に委員会中心主義制度に移行し、それぞれの委員会で活発な議論を展開しているところでありますが、堀越賢二副議長と共に新たな体制の下、さらに竹原の活性化に繋がる議会活動をし、皆様の負託に応えるべく努力して参ります。

昨年は7月の豪雨災害によ

総務文教常任委員会

委員長

今田 佳男



副委員長

下垣内 和春



■所管する事項

- 一般財政
- 財産管理
- 市 税
- 情報処理
- 防 災
- 広域行政
- 農・林・水産・
- 商工・観光振興
- 教 育
- 文化・体育振興
- 水道等

委員



松本 進



吉田 基



道法 知江



大川 弘雄



山元 経穂

議会だより編集委員会

委員長	井上美津子
事務局長	今田 佳男
委員	下垣内和春
委員	堀越 賢二
委員	道法 知江
委員	松本 進

災害支援連絡会

大川 弘雄
堀越 賢二
高重 洋介
竹橋 和彦

○この連絡会は、竹原市災害対策本部が設置された場合に、市議会が市災害対策本部の対応を支援するとともに、災害に対し迅速かつ適切な対応を図る組織です。

議会運営委員会

委員長	川本 円
副委員長	道法 知江
委員	今田 佳男
委員	高重 洋介
委員	井上美津子
委員	松本 進

○議会運営委員会とは、定例会・臨時会における会期の調整や本会議の日程事項、質問者の順序の調整など議会の運営を円滑にすることを目的として、議会運営の全般について協議、意見調整を図るために設けられる常設の委員会です。



第3回 臨時会で議会

副議長
堀越 賢二

り、本市も甚大な被害を受けましたが、今年は復興元年であり、年末の定例議会では、復興のため6億円を超える補正予算が可決されました。事業に関する入札も順調にこなされつつあり、復興作業を待つばかりです。

ピンチをチャンスに変えるのが私共政治家の役割であり、責務と心得、総力で邁進して参ります。元の形に戻す復旧のみでなく、より良いものを作り上げる復興により、人口増の望める「NEW竹原」を目指さなければ、竹原の未来はないと考えます。

今後とも引き続き、市民の皆様のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

民生都市建設常任委員会

- 所管する事項
- 市民生活
 - 福祉
 - 環境
 - 保健・医療
 - 人権問題
 - 農水畜産業の施設整備
 - 土木
 - 都市計画
 - 区画整理事業
 - 公共下水道等

副委員長
宇野 武則委員長
竹橋 和彦

高重 洋介



堀越 賢二



川本 円



井上 美津子



宮原 忠行

委員

種 別	定員	議選各種議員・委員
竹 原 市 監 査 委 員	1	井上美津子
広島中央環境衛生組合議会議員	3	大川 弘雄 道法 知江 今田 佳男
広島県市町総合事務組合議会議員	1	大川 弘雄
広島県後期高齢者医療広域連合議会議員	1	大川 弘雄
竹原市民生委員推せん会委員	2	山元 経穂 下垣内和春
竹原市都市計画審議会委員	2	宮原 忠行 竹橋 和彦
竹原市青少年問題協議会委員	2	川本 円 高重 洋介
大久野島活性化協議会委員	1	道法 知江

会 派 名	所属議員名 ※印は、代表者
快 政 会	※高重 洋介 堀越 賢二 今田 佳男
民 政 同 志 会	※井上美津子 山元 経穂 竹橋 和彦
創 政 会	※川本 円 大川 弘雄 下垣内和春
無 会 派	松本 進(日本共産党)
	道法 知江(公明党)
	宇野 武則(無所属)
	吉田 基(無所属)
	宮原 忠行(無所属)

○本市議会では、構成員2名以上のものをもって会派とみなし、一人の場合は、無所属となります。

こんなことを審議しました！

議案番号	議案名	議案の概要	付託委員会	委員会採決
議案第80号	平成30年度竹原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ554千円を増額補正するもの	民生	原案可決
議案第81号	竹原市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	竹原市教育委員会委員中 梅田 一榮 委員は、平成31年1月31日をもって任期満了につき、その後任委員として 西川 敏博 氏を任命しようとするもの	省略	
議案第82号	竹原市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	竹原市教育委員会委員中 河埜内 鈴子 委員は、平成31年1月31日をもって任期満了につき、その後任委員として 竹下 純子 氏を任命しようとするもの	省略	
議案第83号	特別職等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案	市長、副市長及び教育長の給与について、平成31年1月1日から平成32年3月31日までの給料月額を減額する特例措置を行うもの	総務	原案可決
議案第84号	竹原市職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案	行政職給料表の職務の級が7級である職員の給与について、平成31年1月1日から平成32年3月31日までの給料月額を減額する特例措置を行うもの	総務	原案可決
請受第30-1号	本郷処分場（安定型産業廃棄物最終処分場）の危険性の排除を求める請願	地方自治法第124条の規定により請願を提出するもの	民生	継続審査
発議第30-3号	公立小中学校において教職員未配置をなくす取り組みを求める意見書(案)	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの	省略	
発議第30-4号	竹原市議会議員の議員報酬の特例に関する条例案	竹原市議会議員の議員報酬の額を減額する特例措置を実施するため、この条例案を提出するもの	省略	
発議第30-5号	竹原市議会政務活動費の特例に関する条例案	竹原市議会議員の政務活動費の額を減額する特例措置を実施するため、この条例案を提出するもの	省略	

※「総務」は総務文教委員会 「民生」は民生都市建設委員会

《総務文教委員会》

12月13日・19日・20日・21日

議案第71号「竹原市基本構想の策定について」では、「将来の人口見通し」において、将来的な社会増減の均衡を目指しつつ、人口減少を抑制することを目標として推進する各種施策の実施効果について質疑があり、執行部より「市民に対して計画を丁寧説明します」との答弁がありました。

議案第78号「一般会計補正予算」における主な内容は、市内すべての小・中・義務教育学校の空調設備整備と公共土木施設の災害復旧に要する経費です。

会期中に追加議案として提出された議案第83号・第84号の2議案は、本市の財政状況を深刻に受け止めて、市長、副市長、教育長、部課長の給料月額を減額する内容です。「財政健全化計画」における歳出削減の取組の中で人件費の見直しが必要との説明がありました。

4回の委員会において審査した結果、すべての議案を原案可決としました。

委員長 今田 佳男

常任委員会のように

《民生都市建設委員会》

12月14日・21日

議案第79号は、人事異動及び給与改定に伴う人件費の過不足を調整するとともに、債務負担行為について、竹原浄化センターの水質検査に要する経費として水質検査に係る業務期間及び限度額を定めるものです。

議案第80号は、広島県後期高齢者医療広域連合のシステム機器更改に対応するための経費を追加計上するものであり、2議案とも全会一致で原案のとおり可決しました。

また、当委員会に付託された、本郷処分場（安定型産業廃棄物最終処分場）の危険性の排除を求める請願についても、2日間わたる審査を行いました。

紹介議員及び請願者の出席を求め、請願の趣旨や内容についての説明を受け、慎重に審査をした結果、最終的な判断に至るには引き続き慎重な審査が必要であることから、継続審査にすべきものと決しました。

委員長 竹橋 和彦



平成30年 第4回 定例会

議案番号	議案名	議案の概要	付託委員会	委員会採決
議案第 70 号	竹原市公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	竹原市公平委員会委員中 平 総一郎 委員は、平成 31 年 1 月 31 日をもって任期満了につき、その後任委員として同氏を選任するもの	省略	
議案第 71 号	竹原市基本構想の策定について	平成 21 年 4 月に策定した竹原市基本構想に沿って諸施策を推進してきたが、本年度で計画期間が終了するため、平成 31 年度からの市政運営の指針としての竹原市基本構想を定めるもの	総務	原案可決
議案第 72 号	広島県市町総合事務組合規約の変更について	広島県市町総合事務組合の構成団体である宮島競艇施行組合の名称が「宮島ボートレース企業団」に変更されることに伴い、規約を変更することについて、議会の議決を求めるもの	総務	原案可決
議案第 73 号	竹原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	人事院の平成 30 年 8 月 10 日付けの給与改定に関する勧告等を考慮して、職員の給料月額等を改定するもの	総務	原案可決
議案第 74 号	竹原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	平成 30 年度竹原市職員の給与改定に合わせ、市議会議員の期末手当の支給割合について、改正しようとするもの	総務	原案可決
議案第 75 号	竹原市特別職の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案	平成 30 年度竹原市職員の給与改定に合わせ、市長、副市長及び教育長の期末手当の支給割合について、改正しようとするもの	総務	原案可決
議案第 76 号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	公民館主事及び町並み保存推進員の報酬の額を改定するもの	総務	原案可決
議案第 77 号	竹原市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案	竹原市議会議員の選挙におけるビラの作成についての公費負担を定めるもの	総務	原案可決
議案第 78 号	平成 30 年度竹原市一般会計補正予算(第 5 号)	歳入歳出それぞれ 1,156,153 千円を増額補正するとともに、繰越明許費、債務負担行為、地方債について追加・変更を行うもの	総務	原案可決
議案第 79 号	平成 30 年度竹原市公共下水道事業特別会計補正予算(第 2 号)	歳入歳出それぞれ 1,216 千円を増額補正するとともに、債務負担行為の追加を行うもの	民生	原案可決

※「総務」は総務文教委員会 「民生」は民生都市建設委員会

意見書

公立小中学校において
教職員未配置をなくす
取り組みを求める意見書

広島県において、今年度の公立小中学校教職員未配置状況は 49 人の不足があり、文部科学省のデータによると、連続して 6 年以上未配置状況が続いている。そうした中で、現場では懸命の努力をされておられるが、多くの事務に追われ、子供たちと向き合う時間が十分に確保できないという本末転倒な状況にあり、このままでは、管理指導不足による不登校や非行化、学校荒廃等、様々な悪影響が懸念される。

こうした状況を打開するためにも、早急に子供たちに本来得るべき教育と安全な履修環境を提供する義務がある。

よって、政府及び広島県並びに広島県教育委員会におかれては、教職員不足がもたらす子供たちへの影響をなくすための特段の取り組みを強く要望する。



議員発議

**「竹原市議会議員の議員報酬の特例に関する条例案」
「竹原市議会政務活動費の特例に関する条例案」**

人口減少及び少子高齢化の進行等に伴い、市税等の一般財源が減少する一方で、社会保障関連経費や施設老朽化への対応経費の増加など、本市の財政状況は大変厳しい状況にあります。

今後の財政見通しについても、甚大な被害を受けた平成30年7月豪雨災害に伴う復旧・復興事業に多大な経費が必要とされ、非常に厳しい財政状況が見込まれております。

このような状況下、市においては、行財政経営強化方針、財政健全化計画を定め、こうした財政状況の改善を図ることとしており、その一環として、このたび、市長をはじめとする特別職の給与及び部課長級職員の給与を減額する特例措置を定めたところであります。

こうした状況を踏まえ、市議会としても、本市の財政状況を深刻に受け止め、財政健全化の一助とすべく、竹原市議会議員の議員報酬及び政務活動費を減額する特例措置を実施することとするものであります。

●発議 第30－4号「竹原市議会議員の議員報酬の特例に関する条例案」

- ・期 間／平成31年1月1日から平成32年3月31日まで
- ・内 容／竹原市議会議員の議員報酬月額について、3パーセント減額する

●発議 第30－5号「竹原市議会政務活動費の特例に関する条例案」

- ・期 間／平成31年4月1日から平成32年3月31日まで
- ・内 容／竹原市議会議員の政務活動費について、年額に対し50パーセント減額する

議員報酬を減額する特例措置は、竹原市議会始まって以来の決断であり、全国的に見てもあまり事例がありません。

減額率や内容については、限られた時間の中において議員間でも様々な意見がありましたが、議員全員の賛成を得て可決致しました。

一日も早い災害復旧・復興は誰もが願うところでありますので、全力で進めると同時に、財政状況の改善を図り市財政の健全化に向け取り組んでいかなければいけません。

今後とも、市民の皆さんの生活・福祉向上のために「チーム竹原市議会」として全力で取り組んでまいります。

堀 越 賢 二



※議員発議とは…議員が議案を提出することをいい、市長が提出する議案と同様に、議会で審議をして採決します。

平成30年 第4回 定例会 本会議における採決の結果

議案 番号	下垣内 和春	今田 佳男	竹橋 和彦	山元 経穂	高重 洋介	堀越 賢二	川本 円	井上美津子	大川 弘雄	道法 知江	宮原 忠行	吉田 基	宇野 武則	松本 進	採決の 結果
議案第70号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案 同意
議案第71号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	原案 可決
議案第72号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案 可決
議案第73号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案 可決
議案第74号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	原案 可決
議案第75号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	原案 可決
議案第76号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案 可決
議案第77号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案 可決
議案第78号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案 可決
議案第79号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案 可決
議案第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案 可決
議案第81号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	欠	○	○	○	原案 同意
議案第82号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	欠	○	○	○	原案 同意
議案第83号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案 可決
議案第84号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	原案 可決
発議第30-3号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案 可決
発議第30-4号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案 可決
発議第30-5号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案 可決

※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席

議会のうごき

11月14日 全国市議会議長会研究フォーラム
 11月22日 全国市議会議長会経済産業委員会
 11月26日 全員協議会
 11月29日 第3回臨時議会
 12月 5日 議会運営委員会
 12月11日 第4回定例議会(～12月25日)
 12月13日 総務文教委員会
 12月14日 民生都市建設委員会
 12月15日 広島中央環境衛生組合議会全員協議会
 12月17日 本会議 一般質問(～12月18日)
 議会運営委員会(会期中)
 12月19日 全員協議会
 総務文教委員会
 12月20日 総務文教委員会

12月21日 民生都市建設委員会
 全員協議会
 総務文教委員会
 12月25日 議会運営委員会(会期中)
 代表者会議
 12月26日 広島中央環境衛生組合議会定例会
 1月24日 広島中央環境衛生組合議会視察(～25日)
 1月28日 議会運営委員会
 1月31日 民生都市建設委員会
 県市議会議長会東部ブロック議員研修会
 (府中市)
 2月 1日 全員協議会
 代表者会議

※この間、議会だより編集委員会は6回開催しました。



の
宇野 武則

●市長選挙における公約と行財政改革について ●公金支出に伴う随意契約について 他



質問 国は公文書管理を見直して、組織的な廃棄などが行われた場合の対応を人事院の懲戒処分の指針に明記した。本市の対応は。

答弁 市長 国の動向も踏まえ、職員のコンプライアンス意識の向上を図るとともに、公文書の不適正な取扱いが認められた場合には、厳正な処分を検討してまいります。

質問 新規職員採用後の誓約書提出の目的、内容は。

答弁 市長 地方公務員は、地方公務員法第31条において、条例の定めるところにより、職務の宣誓をしなければならぬとされており、宣誓書においては、全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行することを誓うこととしております。

質問 広島県のプロポーザル方式による業者公募において、募集100件中参加業者1社のみが45件。県監査委員会は知事に改善を求めている。本市の対応は。

答弁 市長 プロポーザル方式による業者選出については、提案までの準備期間や審査方法を考慮するなど幅広い参加が見込める手法を

検討する必要があると考えています。今後も業務内容に応じて最適な方法を採用しながら、適正な契約事務に努めます。

質問 市長選における公約は市長と市民の約束事であり、改革には市長の強いリーダーシップが求められる。公約実現の見通しと財政改革の決意について伺います。

答弁 市長 財政健全化計画を速やかに策定し、確実に実行することで持続可能な財政構造への転換を図りつつ、災害からの早期の復旧・復興、また「元氣な竹原市」の実現を目指して取り組んでまいります。

質問 地域情報基盤整備事業、小中学校耐震化工事での随意契約は、地方自治法の随意契約が出来る場合を拡大解釈してはいないか。

答弁 市長 地方公共団体として行う契約は、極めて厳格な契約手続きを行う必要があると認識しております。随意契約は一般競争入札を原則とする契約方法の例外であることを十分認識したうえで、法令に基づき引き続き適切な契約事務を行ってまいります。



まつもと
松本 すすむ

●竹原市は本郷産廃場計画に明確な反対を示せ ●7月豪雨災害の復旧・復興事業を最優先に



質問 ①市長は、竹原市民の水源を守る立場から、業者と広島県に産廃場計画の白紙を申入れるべきです。②旧上三永産廃場の市議会調査（H7年10月20日）で産廃5品目以外（注射針、乾電池等）の撤去の確認は③雨水等により腐敗・変質しない廃棄物が、なぜ、水質に泡・臭い等が存在するのか。

答弁 市長 ①産業廃棄物の許可、指導監督は県に属しています。本市の市民の皆様が不安をお持ちであるということをまず県に地元の状態を報告し、できるだけ不安を取り除いていただくるように、業者に対してもきちっと説明していただくという形で現在対応されているものです。②広島県が設置業者に撤去指導をすみやかに言い、これらの産業廃棄物の撤去が確認されたら伺っております。③「雨水等により腐敗・変質しない」とされる産業廃棄物による、河川等への影響については水質検査などを通して確認されております。

質問 ①7月豪雨でがけ崩れ等の市内被災箇所数は。

①	がけ崩れ等現地確認したもの	175箇所
	人家2戸以上	19箇所
	人家1戸	39箇所
②	道路・河川の被災箇所数	377件
	国等からの補助を受けて行う工事	166件
	市が単独で行う工事	211件
③	総事業費	約64億円
	国・県支出金	約30億円
	市債	約27億円
	その他の財源	約7億円

（見込み）

復旧工事は2020年度末までに完成できますか。人家1戸の防災対策は。②道路・河川の復旧工事の市プランスの2020年度までに完成させる見通しと対策は。③災害復旧の財源は。

答弁 市長 ①緊急に対策が必要な大規模な箇所については、県が取り組んでまいります。本市においては、がけの高さ5メートル以上で人家が2戸以上の9箇所において対策工事を実施する予定です。人家1戸の被災箇所は、ハートとソフトが一体の土砂災害対策を進めていくことが有効と考えます。②③今後も引き続き全力をあげて災害復旧対策を推進し、一日も早い市民生活の再建に努めてまいります。



どうほう ともえ
道法 知江

●災害に備える再点検 ●人口減少に応じて自治体事業の取捨選択 ●貧困の連鎖を断ち切るために



質問 ①地区防災計画の策定、タイムライン(事前防災行動計画)と避難行動要支援者名簿の活用、我が家のハザードマップの作製については。②防災教育をしていくことは重要と思うが。

答弁 市長 ①地域における自主的な防災活動を支援し、避難情報の内容を周知し、適切かつ迅速な避難行動につなげてまいります。避難行動要支援者名簿には、138人が登録されています。警察、消防署、自治会・民生委員・福祉サービス事業者等と連携を図りながら、避難行動要支援者に係る避難体制の整備に取り組んでまいります。各家庭でのハザードマップ作製は有効なものと考えております。

答弁 教育長 ②児童生徒が安全安心な地域づくりに貢献できるよう、学校と地域が一体となった取組を進めます。

質問 ①人口が減れば事業も減らすべきと考えますが。②市全体で非正規職員が占める割合は。③職員の勤務体制で療養休暇の取得率は。④民間企業の満足度調査を職員「満足度調査」として



導入してみたいかがですか。

答弁 市長 ①事業規模の縮小、廃止を随時行います。②臨時・非常勤の占める割合は職員総数の60%となっています。③病気休暇を取得した職員は、29年度9名今年度10名です。④満足度調査は職員のモチベーション向上や住民満足度向上に繋がる場合もあることから調査・研究してまいります。

質問 昨年7月の生活実態調査から、実態把握がおこなわれていますか。

答弁 市長 小学校5年生、中学校2年生及びその保護者に、所得額に加え生活実態や学習環境等について、広島県が市町と連携して実施した調査であり、生活困窮層と思われる家庭が約10%、生活困難層は約26%となっておりま。



みやはら ただゆき
宮原 忠行

歴史的な大災害に伴う財政出動と 財源確保のための身を切る改革について



質問 今次災害はまさに歴史的な大災害であるとともに、それに対応するための歴史的な財政出動を伴うことは、市民の生命、健康財産を守ることが最大の責務である行政として当然のこととあります。

また、今次災害が200年に一度の降水量によってもたらされたものである以上、復旧をこえた復興と郷土の強靱化が求められています。

まさに、子や孫に伝える安全・安心な郷土の強靱化の実現は、歴史的な大災害を経験した現在を生きるわれわれの歴史的使命であり、責務であります。市長におかれましてもこの認識について共有していただけるはずであります。

そうであるならば、市長自らが、自らの身を切る改革を実践し、財源確保への茨の道を切り拓くとともに、全職員に歴史的な大災害に立ち向かう覇気と自らの職務を通じた実践と献身による財源確保への共感を喚起することが求められなければならないと思います。改めて市長の決意表明を求めます。



答弁 市長 厳しい財政状況において、災害からの復旧、復興事業の実施は、財源や人的リソースにも大きな影響を与えることが予想されますが、一刻も早く市民生活と経済活動を回復させ、完全な復旧を図ることが必要であると考えております。こうしたことから、今後災害復旧事業を最優先に実施し、内部管理経費の削減など事務事業の見直し、大規模な投資的事業の見直しなどにより、財源や人的リソースを確保しながら、災害からの復旧・復興を確実に果たすとともに、将来においても市民に健全な財政を引き継げるよう、財政健全化の取組を進めてまいります。



しもがきうちかずはる
下垣内和春

●7月豪雨災害による消防団の活動全般について ●7月豪雨からの復旧・復興について



質問 ①消防団の装備品について②消防屯所の耐震化は。

答弁 市長 ①消防団は地域防災の要であり、消防団の装備の改善や消防団員の確保等は、地域防災力の充実・強化に必要な取組であると認識しております。消防団と協議を行いながら必要な装備品の整備に努め、消防団活動の充実・強化を図ってまいります。②消防屯所の耐震化については、今後、各施設の老朽度合と適正配置も勘案し、耐震化も含めた必要な取組を検討してまいります。

質問 ①復旧・復興についての市民への説明会の実施は。②復旧・復興の時期はいつ頃になる予定か。

答弁 市長 ①12月7日には県と共に砂防事業にかかる地元説明会を開催し、今後もし引き続き必要に応じ同様の説明会の開催などを通して、復旧・復興に向けた取組について周知を図るよう努めてまいります。②復旧・復興の時期については、道路、河川などの公共土木施設災害のうち、人家などに被害が拡大する恐れのある箇所、交通量が多い幹線道路、二次災害の恐れのある河川など緊急性の高い箇所については、今年度中に工事発注を行い、来年度末までに工事を完了させる予定としております。



このほか、大規模な復旧工事や橋梁復旧工事など長期の工期を要する工事については、順次計画的に工事発注を行い、再来年度末までに工事を完了させる予定としております。



いまだ よしお
今田 佳男

●ICTを積極的に利用した学校間の連携について ●「補助金の交付」について

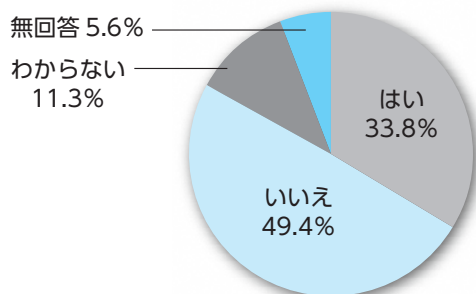


質問 学校のICTを活用した学校間の連携などを進められるお考えはありますか。

答弁 教育長 今後もICTの効果的な活用機会を増やし、これからのグローバル社会を主体的に生き抜くことのできる竹原市の子供たちの育成に取り組んでまいります。

●教育環境について

電子黒板やタブレットパソコンを活用した授業が行われていることを知っていますか



▲竹原市住みよさ満足度アンケート調査結果（概要版）から抜粋

質問 竹原市補助金交付規則は、適正に運用されているでしょうか。

答弁 市長 規定に基づき、補助事業ごとに実施団体から実績報告を提出していたが、事業内容や支出が申請内容に沿ったものとなっているかなどを審査し、適正な運用に努めているところであります。

質問 今後の補助金に対する方針をお聞かせください。

答弁 市長 「今後の財政収支見通し」にありますとおり、今年7月の豪雨災害からの災害復旧・復興事業の実施が必要となること、また、市税等の一般財源が減少し、社会保障関連経費や施設の老朽化への対応経費が増加していくことなどにより、財政調整基金が枯渇する恐れがあるなど、市政は非常に厳しい状況にあります。

こうした状況を踏まえ、補助金に対する方針につきましては、収支が均衡した安定的な財政運営への転換を図るため現在策定中である財政健全化計画の中で示していきますよう取り組んでまいります。

全員協議会で説明を受けました 平成30年12月21日**★第 6 次竹原市総合計画の前期基本計画 (案) 【平成31年度から5年間】**

- 趣 旨…10年後の将来都市像

「元氣と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。」

の実現に向けて、5年間の取組の方向性を示す。

- 重点施策…「元氣」をテーマとした重点施策「たけはら元氣プロジェクト」を設定し、この将来都市像の実現に向けた取組を加速させる。



①呼び込む“ちから”づくり (考え方：外からの賑わいづくり)

②育てる“ちから”づくり (考え方：内からの活気づくり)

★竹原市行財政経営強化方針 (案) 【平成31年度から5年間】

- 趣 旨…総合計画の推進を支える基本的な実行項目のひとつとして、行財政運営の具体的な考え方や取組を示す。
- 基 本 理 念…持続可能な行財政運営の確立
- 3つの基本的視点…**市民起点 未来思考 改善意識**

★財政健全化計画 【平成31年度から5年間】

- 目 的…市財政は極めて厳しい状況にあり、弾力的かつ収支が均衡した持続可能な財政構造の確立が急務
- 財政健全化に向けた基本的姿勢
 - ▶職員一丸となって、最少の経費で最大の効果 を挙げるという行政運営の基本に改めて立ち戻り、限られた財源で最大の効果が出るよう事務事業を見直します。
 - ▶前例踏襲に拠らず新しい発想のもとに、改善の意識・チャレンジ精神を持って、更なる歳入の確保と事務事業のゼロベースからの大胆な見直しを行い、財政健全化に取り組めます。

主 な 質 疑

第6次竹原市総合計画 (案) については、第5次計画の検証について質問があり、今後 P D C A サイクルを回しながら、行政の継続性という観点から検討していくことになるとの答弁がありました。

財政健全化計画については、算出根拠、公有財産の活用、投資的経費、災害復旧・復興事業に関する経費、歳入の確保等についての質問がありました。それに対し、極めて厳しい財政状況が見込まれることから人件費の減額調整、事務事業の見直しなどで経常的経費の削減に努めるとの答弁がありました。

議会も一丸となって、弾力性のある財政の確立に向けた改善策を提言していきます。



3つの商店街とかぐや姫スタンプ会が初めて連携した復興イベントを開催し、多くのお客様によるこんでいただけたと思っています。市民のみなさんのご協力で商店街も元氣になります。今年も新しい企画をして頑張っていきますので、市内事業者のご利用、応援をよろしくお願いいたします。

「復興」への挑戦



● 2月に開催予定のイベント

場 所	イベント	期 間
竹 原 駅 前 商 店 街	商店街を電車でGO!	2月17日
掛 町 商 店 街	フォト・ビデオ コンテストin竹原	2月上旬～2月15日
忠海ほほえみタウン商店会	ラビーロードイベント	2月17日
かぐや姫スタンプ会	竹原スタンプラリー	2月10日～2月25日



▲竹原市商店会連合会 会長
尾野 剛章さん

お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube JP

竹原市議会

検索



次回定例市議会は、2月中旬からの予定です。みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

今号は、改選後の新しい編集委員会による初めての議会だよりとなりました。

特集では、年末に各商店街で復興イベントを開催され、今年も新たなイベントを企画している竹原商店会連合会のみなさんを取材しました。

3つの商店街が連携した事業をするのは初めてとのことで、「オール竹原」で復興に取り組む強い意気込みを感じました。

「議会だより」は「市民と議会のかげはし」でもあります。今後「手に取って読んでいただける議会だより」を目指して、「チーム議会」として一致団結し頑張っていきたいと思います。市民の皆様のご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

今田 佳男

【編集委員】◎委員長◎事務局長

◎井上美津子

◎今田 佳男

下垣内和春

堀越 賢二

道法 知江

松本 進